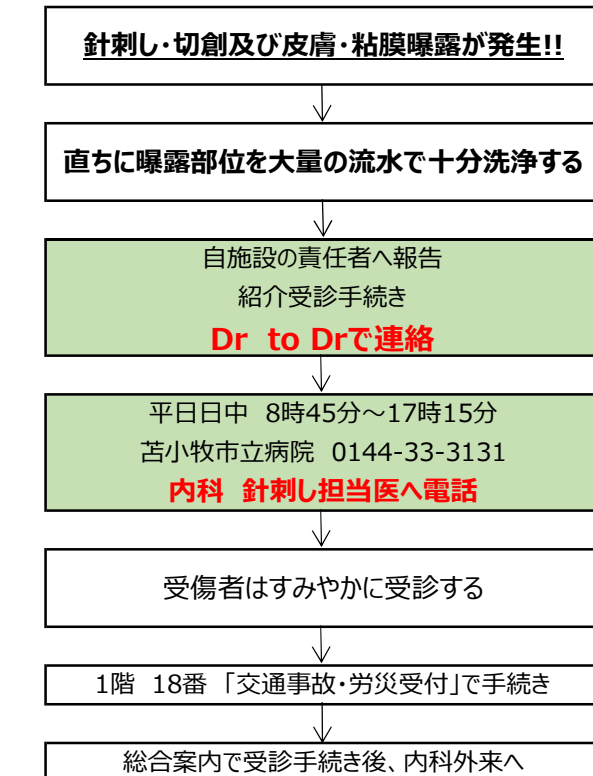


②針刺し損傷時の受診 フローチャート

平日対応用

抗HIV薬の内服は可及的速やかに（可能であれば2時間以内）

一般医療機関・受傷者の対応



*** 内科外来受付に針刺し損傷情報提供書と抗HIV薬予防内服決定チャートを提出する**

感染性体液とは

血液、血性体液、精液、膣分泌液、脳脊髄液
関節液、胸水・腹水、心嚢液、羊水
以下のものは、外観が非血性であれば
感染性なしと考える
便、尿、鼻汁、痰、唾液、汗、涙

患者サポートセンター（17時まで）
FAX 0144-33-4678

必要書類 1 通FAX

・針刺し損傷情報提供書
FAX後、ご持参ください
* その他下記書類⑤⑥

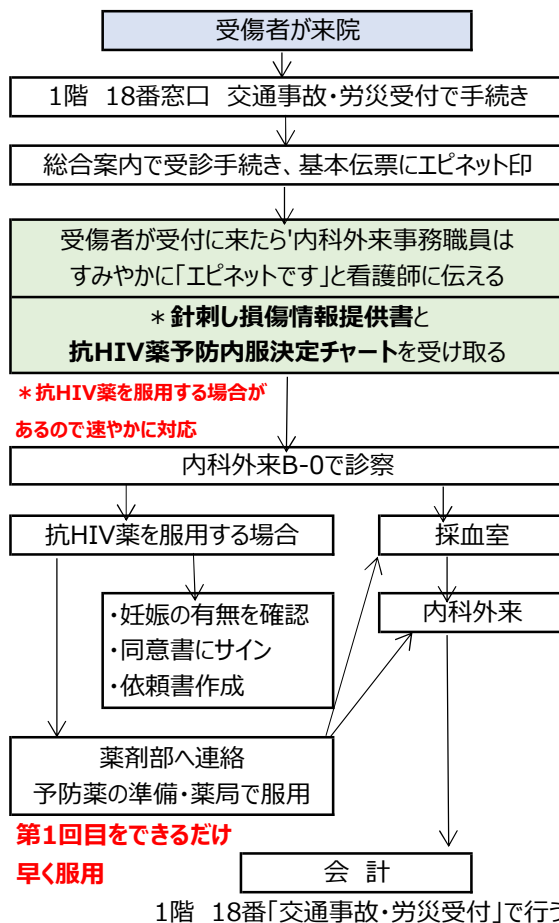
受診時の持ち物

- ① 苫小牧市立病院の診察券
- ② マイナ保険証または資格確認書
- ③ お薬手帳（あれば持ってくる）
- ④ 針刺し損傷情報提供書
- ⑤ 抗HIV薬予防内服決定チャート
・記載しておく
- ⑥ 抗HIV薬予防服用同意書
・服用する場合に記載する

連絡

医師 → 内科外来 → 総合案内 → 18番労災窓口

苫小牧市立病院



診察医師

1. 針刺し損傷情報提供書を確認
2. 受傷者の血液感染症の有無を調べる
3. 曝露源の血液感染症の有無を確認する
* 自施設で検査している場合は、後日データを確認
* 曝露源不明として扱うかを判断する
4. 抗HIV薬の緊急内服の必要性を判断する
・抗HIV予防内服決定チャート確認
・女性は妊娠の有無を確認
・最高3日分まで
・抗HIV薬予防服用同意書・依頼書記載
・抗HIV薬予防服用説明書で説明し、渡す
・処方：薬剤部に連絡

*** 服用する場合は第1回目をできるだけ早く服用**

5. HBs抗体がない場合は、ワクチンやHBIGの検討

6. 次回受診、抗HIV予防薬を用いる場合は
内服期間についても説明

*** 基本的な服用期間は4週間(28日間)**

* 採血オーダ

<オーダ入力方法>

1. 検査→針刺しセット(職員・院外)の選択
(血清保存1年間)
2. HIV予防薬内服者はHIV内服セットオーダを追加
(副作用の評価のため、前・2週間前後採血あり)

* 診察にかかる費用は、自費扱いとし、当院の請求に基づき、事故が発生した医療機関が支払う

HIV予防薬を服用したら感染制御室へ連絡（予防薬補充のため保健所に連絡する）